

# サンテパーク田原のリニューアルに向けて必要なことは

市と事業者と地域との連携をさらに強め、運営体制を構築していきたい



村上 誠

自由民主党田原市議団



## 田原市芦ヶ池農業公園の事業運営について

**問** サンテパーク田原（芦ヶ池農業公園）の現状と課題は。

**答** 本年度で開園26年目を迎え、昨年度の入園者数は約38万6千人だった。課題として、主たる施設の老朽化の進行、駐車場から各施設への動線が分かりづらい、収益力の向上などが挙げられる。

**問** 来園者数を増やすためには民間の参画が不可欠である。民間主催のイベントの開催が来園者数の増加につながると考えるが、現状ではどのようなイベントが行われているか。

**答** リレーマラソン、JAまつり、渥美半島菊花大会、洋らん展、ジャンボカボチャ展示会、芦ヶ池ぐるっとマラソンなどが実施されている。

**問** 施設の課題把握は重要なことである。利用者やイベント参加者からどのような意見が出ているか。

**答** アンケート結果では、いろいろな農業体験ができること、新鮮な野菜を安価に購入できること、公園としてリーズナブルに楽しめるという意見があった一方で、サラダ館の情報機器などの老朽化

の改善、駐車場からの動線の改善、トイレの快適性の改善といった意見があった。

**問** 駐車場からの動線は、安全性および利便性の向上を図るうえで検討すべきであると考えますが、いかがか。

**答** 駐車場からの動線は課題として捉えている。リニューアルを検討する中で課題の解消が少しでもできるように検討する。

**問** 施設での滞在性を高めるために芦ヶ池にボートを浮かべるなどの水面利用はできないか。

**答** 昨年度、芦ヶ池の管理者である水資源機構に改めて確認したが、安全上の課題があるため許可を得られなかった。

**問** リニューアルに向けて、市と事業者と地域が連携して協力体制を構築し、充実した運営を図ることが魅力ある公園づくりにつながると思うが、いかがか。

**答** 市と事業者と地域の方々との連携をさらに強め、お互いに協力し合える運営体制を構築していきたい。

## 不妊症(※1)の支援強化について

**問** 不妊症に対する助成制度について、市の考えは。国の助成制度を活用した不妊症の保険適用外の検査や治療費への助成について、検討したい。

## ヤングケアラー(※2)の支援について

**問** ヤングケアラーの本市の現状と、今後どのような支援体制を整備するのか。

**答** 母子、子育て、教育の担当者による毎月1回の連絡会ではヤングケアラーのケースはあがってきていない。ヤングケアラーに対する認識向上にも目を向け、子育てや教育現場だけでなく、医療や福祉などの関係機関と情報共有できる支援体制づくりに取り組む。

※1 不妊症

妊娠しても流産や死産、早期新生児死亡などを繰り返し、つまずく状態のこと

※2 ヤングケアラー

病気や障がいなどのある家族の介護を支援する18歳未満の子どものこと

